

2020年11月6日

各 位

会 社 名 株式会社イワキ
代表者名 代表取締役社長 藤中 茂
(コード番号：6237 東証第一部)
問合せ先 取締役経営管理本部長 井上 誠
(TEL 代表 03-3254-2931)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年6月15日の「2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

業績予想の修正

(1) 2021年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2021年3月期第2四半期)	13,341	441	637	670	30.45
今回修正予想 (B)	13,159	711	935	1,068	48.50
増減額 (B-A)	▲181	270	297	397	
増減率 (%)	▲1.4	61.3	46.8	59.3	
ご参考：前第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	14,086	1,041	1,243	1,024	46.22

(2) 2021年3月期第2四半期連結業績予想の修正の理由

2021年3月期第2四半期連結業績予想につきましては、売上高は微減ではありますが、売上製品構成比の変化に伴う売上原価率改善に加えて、コロナ禍における工場稼働率の低下や移動制限等により、製造経費、販売費及び一般管理費の発生が想定を下回ったことにより営業利益は、前回発表予想を270百万円(61.3%)上回り、営業利益以降の段階利益も予想を上回る見通しとなりました。

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、半導体・液晶市場において米中貿易摩擦激化の影響などが懸念される状況にあります。現段階では投資の大幅な延期や中止等の動きはみられず、堅調な売上を見込んでおります。加えて、中国医療機器市場向け需要も引き続き好調な見込みですが、第2四半期累計期間における各種費用の実績進捗を鑑み、また、その他入手可能な情報や予測等も勘案し、予想数値を据え置くこといたしました。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、営業活動や製品製造等の事業活動に大きな影響を及ぼす場合には、速やかに業績見通しの修正開示を行います。

(注) 予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上